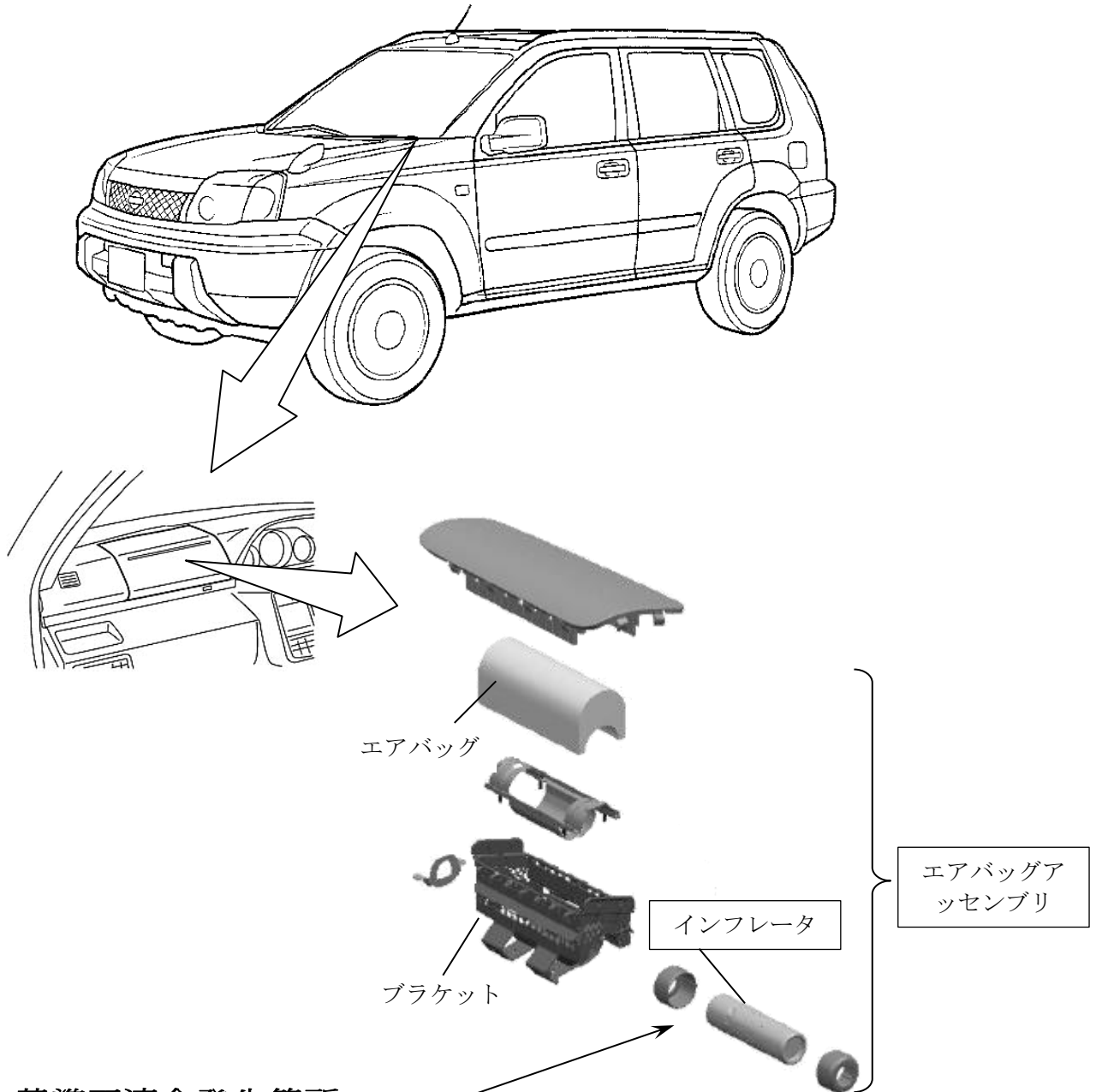


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

助手席側のエアバッグのインフレーター（膨張装置）において、ガス発生剤の吸湿防止が不適切なため、温度および湿度変化の繰り返しによりガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損するおそれがある。

改善の内容

全車両、助手席エアバッグインフレーターまたは助手席エアバッグアッセンブリを対策品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、交換部品を示す。